

概要

第4期埼玉県がん対策推進計画では、施策評価として、ロジックモデルと取組指標を設定した。ロジックモデルに基づく施策評価は、3年後の中間見直しの際に検討することとした。一方、ロジックモデルに記載したアウトカムに至るまでのアウトプット指標として設定した以下の17項目については、毎年の協議会で進捗状況をご議論いただくこととした。

指標一覧

分野別 施策	個別施策	主な取組指標				
		No.	実施主体	アウトプット指標	R7年度の主な取組	R8年度 of 取組方針
がん予防	適切な生活習慣 の普及・啓発	1	県	第4次埼玉県健康長寿計画のうち、喫煙、飲酒、身体活動、食生活、睡眠に関する指標で評価	■ 喫煙、飲酒、身体活動、食生活、睡眠の指標について最新値で評価した結果は下記のとおり。 目標達成 1項目（6.3%） 改善傾向 2項目（12.5%） 変化なし 12項目（75.0%） 悪化傾向 1項目（6.3%）	■ 「コバトンALKOOマイレージ」に参加している市町村・保険組合が主体的に健康づくりを行えるよう支援する。 ■ 禁煙及びCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の予防に係る周知啓発並びに受動喫煙防止対策を行っている施設等の認証を実施する。 ■ 「おいしく しお活」プロジェクト等を展開し、産官学等が連携した「意識せずに健康になれる食環境づくり」を推進する。
	感染症対策	2	県・市町村	HPVワクチンの実施率	■ 接種回数（R7年4～9月 実施分） 定期接種 20,478回 キャッチアップ接種 24,713回 ■ キャッチアップ接種に関する広報 県広報紙、県SNS、ラジオ放送、包括的連携協定企業による広報（LINE配信） ■ HPVワクチン接種後の相談件数 6件	■ 定期接種対象者や保護者に対して、HPVワクチンの効果やリスクについて正しい情報を提供する

第4期埼玉県がん対策推進計画の取組状況

分野別 施策	個別施策	主な取組指標				
		No.	実施主体	アウトプット指標	R7年度の主な取組	R8年度の取組方針
がん予防	受診率向上対策	3	市町村	がん検診普及啓発キャンペーンの実施状況(市町村数)	<ul style="list-style-type: none">■ 55市町 【がん検診受診率60%達成に向けた集中キャンペーン月間実施状況調査】 (R7年12月時点)■ キャンペーン月間である10月に合わせて、県及び市町村が広報紙・SNS等による周知やイベント等のPR活動を実施。 <p>【参考:埼玉県の取組】 彩の国だより10月号掲載、庁内にポスターを掲示、本庁舎への懸垂幕の掲出、さいたまスーパーアリーナへの横断幕の掲出、ピンクリボンライトアップを実施、NACK5ラジオにおいてがん検診受診を呼びかけ</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 県内市町村へ参加を呼び掛ける■ 広域的な広報による後方支援を併せて実施
		4	県・事業者	民間企業等と連携したがん対策普及活動の実施件数	<ul style="list-style-type: none">■ 新規協定を4社と締結(計37企業・団体)■ うち11企業・団体のがん検診受診状況を把握■ がん検診普及啓発セミナー6回開催 延べ840名参加■ がん啓発資材36企業・団体で配布 延べ約73,000部■ イベント開催 5回	<ul style="list-style-type: none">■ がん協定締結企業の増に向けた働きかけ■ がん検診普及啓発セミナーの開催■ がん啓発資材の継続的な配布、県民向けイベントの増
		5	県	がん検診の精度管理について技術的支援を行った市町村への支援数	<ul style="list-style-type: none">■ 支援数 0回(R8年1月末時点)■ 市町村担当者会議において、がん登録を利用したがん検診精度管理の概要について説明。■ がん登録利用に関する具体的な相談 なし■ がん登録事業報告書である「埼玉県のがん2021」に5がんの発見経緯割合や進展度割合などのデータを掲載	<ul style="list-style-type: none">■ がん登録を利用したがん検診精度管理の概要について説明を継続する。

第4期埼玉県がん対策推進計画の取組状況

分野別 施策	個別施策	主な取組指標				
		No.	実施主体	アウトプット指標	R7年度の主な取組	R8年度の取組方針
がん医療	がん医療提供体制の充実	6	拠点病院等	役割分担に関する議論が行われていること	<ul style="list-style-type: none"> ■ がん・生殖医療への対応や緩和ケアを行う体制等について、都道府県拠点病院を中心に、埼玉県がん診療連携協議会で議論した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の実情に応じて、役割分担が必要となる医療等について協議していく。
		7	拠点病院等	BCPを整備している拠点病院等の割合	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国拠点 100% [15/15]【現況報告書】(R7年9月時点) ■ 県指定 83% [10/12]【現況報告書】(R6年12月時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ BCPの整備は、次期の指定要件の改定において必須要件とすることを念頭においたものとされている(現在は『望ましい』要件)。 ■ 全ての拠点病院等で整備されるよう働きかけていく。
	緩和ケアの提供	8	拠点病院等	緩和ケア研修終了者数	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緩和ケア研修会修了者(医師・歯科医師) 139名(R7年11月末時点) ■ 緩和ケア研修会修了者(医師・歯科医師以外) 48名(R7年11月末時点) ■ 12回開催(国拠点9回、県指定3回)(R7年11月末時点) ■ がん診療に携わる医師・歯科医師の緩和ケア研修修了割合 国拠点 82%(R7年9月時点) 県指定 53%(R6年12月時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国の開催指針に基づいた緩和ケア研修を開催し、地域の医療従事者も含めたがん診療に従事する医師・歯科医師、その他医療従事者が受講できる体制を整備するよう働きかけていく。
がんとの共生	相談支援及び情報提供の実施	9	拠点病院等	がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国拠点 13,123件【現況報告書】(R6.1.1～R6.12.31)(前年比6.4%増) ■ 県指定 4,855件【現況報告書】(R5.1.1～R5.12.31)(前年比22.4%減) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ がん患者や家族の医療や療養上の問題に対して、全人的な相談支援を行う体制を確保するよう働きかけていく。
		10	県	がんに関する県ホームページにアクセスした件数	<ul style="list-style-type: none"> ■ がん患者支援情報を掲載しているページの累計閲覧数【県疾病対策課調べ】 44,985件(R7年1月～12月) 前年比3.3%減 (46,511件 R6年1月～12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ がん医療に関する情報や、国が運用するがん情報サービスの紹介など、情報提供と理解促進に取り組む。 ■ 適時、情報の更新・追加、周知を行う。

第4期埼玉県がん対策推進計画の取組状況

分野別 施策	個別施策	主な取組指標				
		No.	実施主体	アウトプット指標	R7年度の主な取組	R8年度の取組方針
がんとの 共生	就労支援の推進	11	拠点病院 等	ハローワークと連携した就職支 援を行っている拠点病院等の割 合	<ul style="list-style-type: none"> ■ 71%[10/14]【埼玉労働局調べ】(R7年10月時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 埼玉労働局と連携し、相談支援を行うよう促す。
		12	県・事業者	民間企業等と連携した治療と仕 事の両立支援に向けた研修等の 開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2回 ■ がん協定締結企業向けの検討会にて、社会保険労務士の両立支援に関する講演を実施。 ■ 一般財団法人医療・福祉・環境経営支援機構と協力し、開催した講演会では、がんサバイバーでもある県職員の実体験も交えた講演を行い、理解を呼び掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ がん協定締結企業等に向け、治療と仕事の両立支援の啓発を実施
		13	県・拠点病 院等	アピアランスケア研修修了者数 (県または拠点病院等)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県主催アピアランス研修 2回開催 ■ オンライン研修39名へ配信、実技研修25名に対し実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 埼玉医科大学国際医療センターとの連携により、県内医療従事者向け研修を実施。 ■ 研修の実施等を通し、県内のアピアランスケア担当者間の顔の見える関係を構築する。
		14	拠点病院 等	拠点病院等におけるアピアラン スに関する相談件数	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国拠点 4,351件【現況報告書】(R6.1.1～R6.12.31)(前年比6.5%増) ■ 県指定 320件【現況報告書】(R5.1.1～R5.12.31)(前年比12.6%増) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続き、拠点病院等での相談支援を促す。 ■ 適宜、アピアランスケア研修を開催する。

第4期埼玉県がん対策推進計画の取組状況

分野別 施策	個別施策	主な取組指標				
		No.	実施主体	アウトプット指標	R7年度の主な取組	R8年度の取組方針
基盤整備	がん教育とがんに関する知識の普及啓発の実施	15	拠点病院等・市町村	拠点病院等における地域を対象としたがんに関するセミナー等の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国拠点 31回【現況報告書】(R7年9月時点) ■ 県指定 31回【現況報告書】(R6年12月時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域を対象としたがんに関するセミナーを定期的に開催できる体制を確保するよう働きかけていく。
		16	県	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県内国公立のがん教育外部講師活用状況【令和5年度がん教育の実施状況調査】埼玉県 7.9%(前年 8.4%) 全国 12.5%(前年 11.4%) ■ 疾病対策課事業にて、4校に計6回外部講師を派遣、509人の学生にがん教育を実施(R8年1月末時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育局では、公立、県立学校におけるがん教育、当課では、私立学校、大学、短期大学、専門学校におけるがん教育を担っている。 ■ 私立学校、大学、短期大学、専門学校に対して、がん教育の必要性を周知、希望する学校に対して医師等の医療従事者又はがん経験者・その家族を外部講師として派遣し、がん教育の推進を図る。
	がん登録の利活用の推進	17	県	精度指標としてのMI比・DCO	<ul style="list-style-type: none"> ■ MI比 0.39【埼玉県のがん2021】 ■ DCO割合 2.2%【埼玉県のがん2021】 ■ 病院等からの届出漏れを更に減少させるため、年度当初に届出対象の有無を確認 ■ 病院等の担当者との連絡をスムーズに行うため、病院等の担当者の連絡フォームを新たに作成し、最新の情報を収集できる体制を構築 ■ R7年度遡り調査は、対象医療機関からの回答をすべて回収できたので、例年どおりの水準が維持できる見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 病院等からの届出漏れを更に減少させるため、年度当初に届出対象の有無を確認し、対象がない病院等からはいわゆる「0件報告」の提出を求める。 ■ 病院等の担当者との連絡をスムーズに行うため、病院等の担当者の連絡フォームを新たに作成し、最新の情報を収集できる体制を構築する。